

羽田空港新整備場地区での太陽光発電設備の設置について

～空港内の脱炭素化に向けた取り組みを加速～

この度、空港施設株式会社(本社：東京都大田区、代表取締役社長：田村 滋朗、以下「当社」)は、羽田空港に保有するエンジンメンテナンスビル南棟およびコンポーネントメンテナンスビルに太陽光発電設備を設置いたしましたので、お知らせいたします。

当社はこれまで CO₂ 排出量の削減を目的として、羽田空港国内貨物地区をはじめ国内外各地に太陽光発電設備を設置してまいりました。今般、東京都による「地産地消費型再エネ増強プロジェクト」の助成金を受給することを受け、当該施設にご入居中の全日本空輸株式会社と連携し、太陽光発電設備の設置にいたしました。本設備で発電された電力は施設内で利用され、年間約 85t の CO₂ 排出量の削減が見込まれています。なお、本施設では昨年度、省エネルギー対策の取り組みとして、照明器具の LED 化も実施いたしました。今後、更なる環境負荷削減のために高効率空調設備の採用、省エネルギー推進体制の構築等も検討しております。

引き続き、脱炭素社会の実現、持続可能な社会の実現に貢献すべく、取り組みを加速させてまいります。



エンジンメンテナンスビル南棟



コンポーネントメンテナンスビル

【発電設備詳細】

設置施設	エンジンメンテナンスビル南棟	コンポーネントメンテナンスビル
設備概要	設置容量：115.20[kW] パネル：600W×192 枚 PCS：50kW×2 台	設置容量：68.60[kW] パネル：490W×140 枚 PCS：62.5kW×1 台
用途	自家消費電力	自家消費電力
年間発電量（初年度）	約 122,566kWh	約 64,704kWh
年間 CO ₂ 排出削減量	約 56t	約 29t
運用開始日	2024年11月	2024年11月

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

空港施設株式会社 広報・IR 室

電話：03-3747-0953（9：00～17：00）

※土日祝日を除く